

# 全国学力・学習状況調査の自校採点結果を基に つまずき解消に向けた取組を早期に推進するために


先日、全国学力・学習状況調査の「自校採点結果」を踏まえた県全体の平均値を返却しました。自校の結果と県平均を比較することで見えた児童生徒のつまずきの解消に向けて、早期に取組を推進いただくようお願いします。


## 自校採点結果を活用し、つまずき解消の取組を図る際の手順の一例

Research

- 1 自校採点結果データベースを活用し、児童生徒の実態を把握する。

県平均と比較して、-4.8%だ。1年生の復習が必要だな。

(1)	一元一次方程式 $4x=7x+15$ を解く	77.6	82.4		-4.8
-----	------------------------	------	------	--	------

三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の【イ】に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	34.4	31.3		3.1
---	---	------	------	---	-----

県平均を3.1%上回っているけれども65%が正答できていないな。

Target

- 2 1を基に、つまずきが見られた設問の解消に向けた手立てを考える。その際、長期的な視点で解決を図ることと、今すぐ取り組むべきことを明確にする。

出題範囲が前学年までの内容であることから、現学年（小6、中3）の学習を進めるとともに、つまずき解消に向けて、今すぐ取り組むべきことを示し、全教職員で共有しましょう。その際、当該学年の学級担任や教科担当の問題にせず、学校全体で解消に向けて取り組みましょう。

Plan

- 3 つまずき解消に向けた取組とその目標を示し、推進体制を構築する。

「知識・技能」に関する設問では

「活用」に関する設問では

問題演習の場が必要だ。帯学習・補充学習の内容を見直そう。

家庭学習をより効果的にできないかなあ。内容や指導・評価方法を工夫しよう。

思考・判断したことをノートに書かせ、それを見せ合い、考えを深める活動を取り入れよう。

表現力をつけるために、全教科で説明する活動を取り入れよう。



岡山県マスコット「うらっち」

Do

- 4 目標達成に向けた取組が順調に進んでいるか、担当者として確認する。

6月下旬には県学力・学習状況調査、8月下旬には全国学力・学習状況調査結果が返却される予定です。今年度からは、複数学年にわたる児童生徒の学力・学習状況を全国値と比較して把握することが可能となり、つまずき解消に向け、全校で一丸となって取組を推進することが一層重要となります。まずは、返却された自校採点結果に基づき、児童生徒の学力向上に必要な手立てを構築し、焦点化して取組を推進しましょう。



岡山県マスコット「ももっち」